

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	1	後期	2 単位	必修
2 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榎原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
3 作業療法概論	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や実症例を挙げながら講義・演習を展開する。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 河村 晃依 ※ 前場 洋佑 ※	1	通年	2 単位	必修
4 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
5 臨床実習 I	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	1	通年	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
6 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田 明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
7 解剖学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	2	前期	2 単位	必修
8 解剖学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、筋・骨格についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
9 解剖学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、実際の人の身体についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	通年	1 単位	必修
10 生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 緒形 雅則 小島 史章 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
11 病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基础知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修
12 臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
13 臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
14 臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釧持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
15 臨床医療学Ⅱ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 北村 律 ※ 望月 純子 ※ 松本 和将 ※ 塩見 和 ※ 石井 大輔 ※ 岩瀬 大 ※ 恩田 貴志 ※	2	後期	1 単位	必修
16 臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修
17 整形外科学	病院での実務経験を踏まえ、メディカルスタッフが対象とする整形外科疾患の病態、治療法について教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 酒井 利奈 ※ 松浦 晃正 ※ 齋藤 亘 ※ 助川 浩士 ※	2	後期	1 単位	必修
18 精神医学	精神科医としての実務経験を踏まえ、精神障害の基礎知識に加えて、患者の状態に応じた接し方、治療において問題となる社会・家庭の要因についても解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷 浩邦 ※	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
19 薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているかを概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	選択
20 公衆衛生学	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	後期	2 単位	選択
21 社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球恵 ※ 亀澤 有子 ※ 中村 奈奈 ※ 坪井 ゆり ※ 市川 賀一 ※ 提中 拓 ※	2	前期	1 単位	選択
22 発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	選択
23 医療統計学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。 病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	2	後期	2 単位	選択
24 基礎作業学	病院での臨床経験を踏まえ、人にとっての生活行為の意味及び作業療法がどのように展開されるのかを概説する。	川口 敬之	高橋香代子 ※ 川口 敬之 ※	2	前期	1 単位	必修
25 基礎作業学実習	病院での臨床経験を踏まえ、作業分析及び実際の作業療法を想定した演習を実施する。	川口 敬之	高橋香代子 ※ 川口 敬之 ※	2	通年	1 単位	必修
26 作業療法評価学	病院での臨床経験を踏まえ、評価の意義及び臨床における評価がどのように展開されるのかを概説する。	渡辺 愛記	渡辺 愛記 ※	2	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
27 作業療法評価学実習	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における評価の実践について実技を交えて実施する。	渡辺 愛記	渡辺 愛記 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※	2	後期	1 単位	必修
28 運動学	病院での実務経験を踏まえ、臨床における人間工学と運動学的視点からの人間活動の捉え方を教授する。リハビリテーションにおける重要な動作分析や作業分析方法への展開を教授する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※	2	通年	2 単位	必修
29 運動学実習	病院での実務経験を踏まえ、臨床における人間の活動に対する運動学的分析と運動力学的分析の方法について実技を交えて教授する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※	2	通年	1 単位	必修
30 高次脳機能学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	2	後期	1 単位	必修
31 地域作業療法学	作業療法士として地域医療に携わった経験を踏まえ、障害を持ち地域で生活をする人への支援について講義を行う。	前場 洋佑	前場 洋佑 ※ 渡邊 誠 ※	2	後期	1 単位	必修
32 地域作業療法学実習	病院や地域での臨床経験を踏まえ、学外見学を通して、地域医療やその歴史について指導する。	前場 洋佑	前場 洋佑 ※ 渡邊 誠 ※ 山崎 高多	2	後期	1 単位	必修
33 リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の見点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修
34 身体障害作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨想的思考や症例を挙げ、講義・演習を展開する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※ 渡辺 愛記 ※	3	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
35 身体障害作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、身体障害領域の作業療法に用いられている評価技法、治療技法について演習をし、実際の使い方、その結果の解釈について授業を行う。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	3	通年	1 単位	必修
36 精神保健作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、精神科作業療法および地域資源での精神障害者リハビリテーションの実務内容を整理し、それらの価値や資源を活用する方向などについて明示的に伝える。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	通年	2 単位	必修
37 精神保健作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、精神科作業療法および関連する領域で現在標準的に用いられている評価技法、治療技法について演習を通して実際の使い方、その結果の解釈について授業を行う。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	後期	1 単位	必修
38 発達障害作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や実症例を挙げながら講義・演習を展開する。	高橋香代子	高橋香代子 ※	3	前期	2 単位	必修
39 発達障害作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、実際に病院における臨床場面を学生に見学させながら自身の作業療法の臨床的思考を伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※	3	通年	1 単位	必修
40 老年期作業療法学	介護老人保健施設での臨床経験を踏まえ、高齢者の生活障害及び地域包括ケアにおける作業療法士の役割を概説する。	河村 晃依	河村 晃依 ※	3	前期	1 単位	必修
41 老年期作業療法学実習	介護老人保健施設での臨床経験を踏まえ、高齢者の生活障害及び作業療法がどのように展開されるのかを概説する。	河村 晃依	河村 晃依 ※ 渡邊 誠 ※ 柴 喜崇 ※	3	通年	1 単位	必修
42 生活活動学	病院での臨床経験を踏まえ、生活障害に対する評価、介入方法を概説する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	3	前期	1 単位	必修
43 生活活動学実習	病院での臨床経験を踏まえ、生活活動の評価で用いられる技法（観察、動作工程分析）について演習を中心に、障害特性に応じた結果の活かし方や介入計画を事例を通して説明する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※ 高橋香代子 ※	3	通年	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
44 生活環境調整学	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションにおける住環境整備と福祉用具の適応評価の捉え方を教授する。生活環境に関する評価、住環境整備の方法論等を概説する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 佐々木秀一 ※	3	前期	1 単位	必修
45 生活環境調整学実習	病院での臨床経験を踏まえ、実際の臨床場面で行われる住環境の評価と住環境整備の立案を実習する。さらに福祉用具、義手、義足、補装具の適応と処方に関して実習する。実際に補装具、義手の作製を行い事例を通じて、作業療法の治療戦略を教授する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※ 横山美佐子 ※ 畔柳 竜也 ※ 齋藤 拓 ※ 佐々木秀一 ※	3	通年	1 単位	必修
46 高次脳機能作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	3	前期	1 単位	必修
47 職業活動学	病院での臨床経験を踏まえ、病院での職業リハビリテーションアプローチと地域でのアプローチの違いを認識できるように事例を中心に解説する。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※ 藤川 千鶴 ※	3	前期	1 単位	必修
48 職業活動学実習	病院での臨床経験を踏まえ、職業リハビリテーションの場面で用いられる評価技法（作業見本法、質問紙法など）の演習をし、障害特性に応じた結果の解釈と活かし方を事例を通して説明する。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	前期	1 単位	必修
49 臨床実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 渡邊 誠 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	3	通年	4 単位	必修
50 臨床実習Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 坂本 豊美 ※ 渡邊 誠 ※ 渡辺 愛記 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	4	前期	16 単位	必修
51 作業療法技術論Ⅱ	臨床経験を踏まえ、臨床における評価・治療介入の実践について実技を交えて実施する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※	4	後期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
52 作業療法技術論Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法を取り囲む制度、理論について概説する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	4	後期	1 単位	選択
53 作業療法技術論Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、精神障害領域で用いられる作業療法の治療技法と芸術療法や活動療法の技法を検討を加えながら演習を行う。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	4	後期	1 単位	選択
54 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
55 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
56 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQ757	全	後期	2 単位	自由
57 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
58 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
59 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
60 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
61 生体信号計測概論	企業での機器開発経験を踏まえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						104 単位	